

## 奥多摩むかし道

Hiya

期 日：2020年02月24日（月） 晴れ

コース：奥多摩駅9:25→むかし道入口9:33→白髭神社10:50→茶屋11:55/20→西久保の切り返し12:50→青目立不動尊13:30→水根13:55→奥多摩湖バス停14:00～奥多摩駅14:22

参加者：Hi、Su、Na、Ya、Ko、Ai、O、Yo

奥多摩駅から奥多摩湖まで旧青梅街道を歩いた。最初の2/3程は所々に集落のある起伏の少ない広い道、残りは標高差160mの細い急な山道。現青梅街道が一般開放された昭和20年頃まで生活の道として使われたようだ。



奥多摩駅駅舎は昨年改装、トイレも新しくなった



氷川大橋を渡ると、程なくむかし道入口



むかし道は標高差70mの羽黒坂から始まる



平らな所に出ると、ダム用資材を運んだ線路跡



急斜面を走る道は改修を重ねたのか、広く起伏少ない



集落が幾つかあり、一部は今でも生活の道か





民家近くに残るかつての高架線跡



白鬚神社に覆いかぶさるような石灰石の大岩  
大きすぎ写真に収まらない



自然石に穴の空いた弁慶の腕ぬき岩



仕留められ崖から落ちた鹿を検分している人



軒下に積重ねられた大量の薪。何用だろう？



惣岳溪谷に架かるしだくら吊橋  
2人以上で渡らないで、と





馬の水のみ場。3軒の茶店があったそうだ



今回あった道中唯一の茶屋



茶屋近くのベンチで昼食



近くの斜面には猿が数匹



道所吊橋から見る深い渓谷



西久保の切り返しから細い山道に入る





標高差 160mの坂を登る



登り切ると集落の前から奥多摩湖が見える



再び山に入り、緩やかに沢に下って登り返す



登り切ると青目立不動尊だが非公開で入れず  
展望台も見当たらず、屋根越しに奥多摩湖を眺める



不動尊下から舗装道に出て、  
程なくむかし道終点の水根に到着



奥多摩湖には予定より少し早く到着  
一つ前のバスに乗り、奥多摩駅近くで反省会